



令和7年度 市来中学校 グランドデザイン



鹿児島県教育振興基本目標
《基本目標》 夢や希望を実現し
ともに未来を創る鹿児島の人づくり

【校訓】
・ 好学愛知
・ 不撓不屈
・ 切磋琢磨

**第4期いちき串木野市
教育振興基本計画**
《基本理念》 「認め」「支え」「学び」
ともに未来を創る人づくり

【生徒指導指針】
・ 礼を正し
・ 場を清め
・ 時を守る

【学校教育目標】
自ら学び高め合い、心豊かで
たくましい生徒の育成

【生徒会スローガン】
・ 気づき
・ 考え
・ 行動する

【めざす学校像】
1 信頼と協力により、生徒と教師が生き生きと活動・前進する学校
2 教師と生徒が一体となり心の触れ合う潤いのある学校
3 教育環境が常に整備され、花と緑に囲まれた学校
4 家庭や地域、他校種等と協力してより良い生徒の育成をめざす学校

【めざす生徒像】
1 自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる「主体性」を身につけた生徒
2 より高い知識を求めて勉学に励み、今の自分をより高めるため努力し続ける習慣を身につけた生徒
3 どんな困難に遭遇しても強い意志をもち、これを切り拓いていこうとする生徒
4 人間尊重の精神に立ち、自他共に大切にし、助け合い、励まし合い充実した学校生活をめざす生徒

【めざす教師像】
1 心身ともに健康・明朗・謙虚で、お互いに協力する教師
2 常に研修に励み、自己の向上をめざす教師（ICT教育、特別支援教育等）
3 愛情と厳しさを兼ね備え、生徒一人一人を認めるところは認めながら大切に作る教師「和顔愛語」
4 社会的良識と品格を備え、生徒の模範となり信頼される教師

【学力・学習意欲アップ】
全国、県学力・学習状況調査調査の全教科県平均+3ポイント以上

- 学習指導法の改善
 - 授業づくり5ポイントの実践（見通しと振り返り）
 - 主体的・対話的で深い学びの実践で生徒の思考力や問題解決力を育成
 - CBTを含む1人1台タブレットの積極的な活用
 - 1時間の授業で定着させる授業の充実
 - 年間を通じた研究授業の充実
 - 相互授業参観の実施（フィードバックによる改善）
- 個別補充指導の充実
- 学習環境の整備
 - 教材・備品等の計画的な更新
 - ユニバーサルデザインの視点に立った環境整備
- 家庭学習の習慣化
 - 家庭学習の手引きの活用及びスコーラ手帳の活用
 - 進路情報の提供を含む保護者とのコミュニケーション
 - 幼小中連携の推進

【人権感覚・思いやりアップ】
いじめ見逃し、新規不登校生ゼロ（自己指導能力の育成）

- 全員で取り組む道徳教育の推進
 - 道徳授業の完全実施
 - 「不屈の心」等を活用した指導法改善
 - 全教育活動を通じた指導の実践
- 生徒指導の充実
 - 生徒指導委員会の充実
 - 定期的実態調査と教育相談（年2回）の充実
 - SC、SSW、教育支援センター等との連携強化
- 特別支援教育の推進
 - 個別支援計画の機能化
 - インクルーシブ教育の推進
- 読書活動の計画的推進
 - 3年間100冊以上を目標
- 生徒会活動の活性化
 - 気づき・考え・実行する生徒の主体性を重視した活動の展開
 - 生徒会活動やボランティア活動の充実（松寿園訪問他）
 - 元気の良い挨拶励行（いがいっばいあいさつ運動の推進）
 - 学級園の充実
- 地域行事や郷土芸能等への積極的参加及び協力

【健康・体力アップ】
気力・体力・健康の増進と安全に対する意識の高揚による事故ゼロ

- 教科体育の充実
 - 体力テストの分析と活用
 - 授業の中での体力づくり
 - 一校一運動の推進
- 保健安全指導の徹底
 - 基本的生活習慣の確立
 - 健康に関する自己管理能力の向上
 - 定期健康診断の活用と早期治療（う歯治療100%）
 - 各種保健指導（性、食育、薬物、歯科等）の充実
 - 授業実践を通じた性教育の推進・充実
 - 感染症予防や熱中症対策の徹底
 - 交通安全指導の徹底
 - 地域との緊密な連携による事故防止
 - 危険予測と回避能力、事故対処能力の向上（避難訓練）
- 給食の時間の充実と食育（食物バランスガイド等）の推進
- 教育環境の整備・充実
 - 安全点検の徹底
 - 日常的な掃除、整理整頓の徹底
- 保護者や学校医との連携
 - 学校保健委員会の充実
- 適切な部活動運営

人権教育を土台とした教育活動（自他の尊重）

本校の解決すべき重点課題

- 基礎的・基本的内容を確実に身につけ、自ら学ぶ意欲や態度を育て、調和のとれた生徒の育成を図る。（個別最適な学習と協働的な学習及びICT活用）
- 豊かな心を持ち、健やかでたくましく、自己肯定感が高まるような健全な成長を促し、自己指導能力の育成を図る。
- 望ましい人間関係づくりを推進するため道徳教育やボランティア等の体験活動及び人権教育を充実させる。
- 体力向上に励み、自らの健康や安全に気をつけようとする態度を育てる。